

## 熊野古道世界遺産登録 15 周年の取組について

## 1 15 周年事業の考え方

熊野古道は 2004（平成 16）年 7 月 7 日に世界遺産に登録され、2019（平成 31）年に登録 15 周年、2024 年には登録 20 周年を迎えます。伊勢志摩サミット後は、インバウンドの来訪が徐々に増えつつあり、2022 年には日本人の国内宿泊数とインバウンドの宿泊数が逆転するとされています。

また、県南部においては、若者の流出が続いており、地域の伝統や文化の担い手づくりが重要な課題となっています。

そこで、15 周年では、20 周年をめざして、インバウンドも含めた国内外からの誘客に取り組むとともに、次世代へ熊野古道の価値を伝承し、持続可能な観光地域づくりに取り組んでいきます。

## 【15 周年事業基本指針】

- (1) 東京オリンピック、パラリンピックなどビッグイベントを情報発信のチャンスとして活かし、インバウンドを含む国内外からの誘客に取り組む。
- (2) 熊野古道の価値を再確認し、子ども・若者など次世代に伝え、熊野古道伊勢路とその周辺地域への誇りと愛着を育み、伝統と文化の担い手づくりを行う。
- (3) 地域の自主的な取組を支援し、住む人にも訪れる人にも魅力的で持続可能な観光地域づくりを進める。

## 2 15 周年事業の概要

- (1) 開催期間 2019 年 4 月～12 月
- (2) 開催地域 熊野古道伊勢路及び沿線地域等
- (3) テーマ 幸せを結ぶ路 ～熊野古道伊勢路～
- (4) 記念イベント
  - ①15 周年記念イベント…県等が実施する 15 周年事業のキックオフとなる事業  
日時：2019 年 7 月 7 日（日）（世界遺産登録日）（予定）  
場所：熊野古道センター（予定）  
内容：講演会、貢献者への感謝状贈呈、熊野古道アンバサダー（仮）委嘱式等
  - ②熊野古道フェスタ（仮）…県等が実施する 15 周年事業の集大成となる事業  
日時：2019 年 12 月  
場所：熊野古道伊勢路及び沿線地域  
内容：講演会、小中学生や高校生による地域の魅力発掘の取組報告、子どもたちによる次世代継承宣言等
- (5) 協賛事業等  
15 周年事業開催期間中（2019 年 4 月～12 月）、県、市町、企業、団体等が 15 周年を記念して協賛事業を実施します。  
特に、熊野古道らしさが際立つ、10 月 26 日から 11 月 17 日までを県や市町、団体等による体験、講座、展示など様々な事業を集中的に展開する「熊野古道ウィーク」として設定します。県はこの期間限定でアクセスの充実を図ります。

(6) ロゴマーク



(7) プレイベント

- ①日本外国特派員協会におけるPR交流会（1月24日）
- ②にっぽん丸尾鷲寄港歓迎式（3月8日）
- ③松本峠保全体験（3月9日予定）

(8) その他

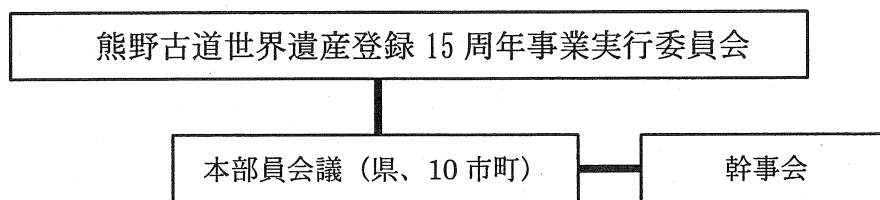
外国人観光案内所の認定（JNTO）、SNSによる情報発信など草の根運動的に地域全体で取り組めることを実施する。

3 体制（熊野古道世界遺産登録15周年事業実行委員会）

(1) 設立 平成30年12月20日

(2) 本部員会議構成員 伊勢市、尾鷲市、熊野市、多気町、大台町、玉城町、大紀町、紀北町、御浜町、紀宝町、三重県

(3) 組織図



4 取組への支援のお願い

熊野古道は三重県が誇る世界遺産です。15周年事業について、熊野古道沿線市町だけでなく、県全体で盛り上げていきたいと考えています。

各市町におかれましては、趣旨にご賛同いただき、ポスターの掲示やパンフレットの配置、広報紙での紹介など熊野古道に関する取組の実施につき、ご支援、ご協力を何卒よろしく申し上げます。